○八戸市体育施設整備に関する基本方針の改定案に対するパブリックコメント

- ・募集期間
令和6年11月21日（木）～令和6年12月23日（月）
- ・提出方法
氏名、連絡先を明記のうえ、郵送、FAX、電子メール等により提出
- ・周知方法
市ホームページ、市庁舎案内、各市民サービスセンター、各地区公民館
市内各スポーツ施設等にチラシを設置
- ・寄せられた意見
なし

○八戸市体育施設整備に関する基本方針の改定案に対する庁内関係課の意見

・教育委員会

○意見

小学校に引き続き、中学校部活動地域移行が今後予定されている。そのような中で、地域クラブや民間のスポーツクラブが受け皿となって、学校体育施設を活動の場として選択することが増えてくることが予想される。

現在は、学校教育に支障のない範囲で地域住民がスポーツやレクリエーション等の活動のために小・中学校を開放しているが、貸出時間や期間が限定（1年間同じ時間に同じ団体へ貸出）しているため、多くの団体へは開放することができない。

状況としては、地域のスポーツ団体等に貸し出す割合が高く、地域のレクリエーションに使える枠の確保が難しい学校もある。

また、廃校を利用するスポーツクラブチームも多い。

※学校施設開放は使用料は無料、廃校は行政財産目的外使用料がかかる。

現在、学校施設開放事業について見直しを検討しているところだが、まずは市営の体育施設を市民が使いたいと思っていただくことが大切だと考える。

市内の学校以外の体育施設が借りられなかったためという理由もあるようなので、新体育館及び既存の体育施設を整備していくうえで、より、市民が使いやすい魅力ある環境の構築をお願いしたい。

水泳プールに関しては、基本方針に感謝したい。

今後、運営を検討していく際には、可能であれば運営の面で、学校⇄プールのバス移動支援も事業に盛り込んでいただきたい。

・長根屋内スケート場

○意見

現行の基本方針は、長根屋内スケート場建設時のものであるため、現在の施設管理に合った内容に変更したい。

(改定案)

- ・利用者が安全に利用できるよう点検等を継続して実施する。
- ・防災拠点施設としての機能も有していることから適切に維持管理を行っていく。

○長根公園の整備に関する会議での意見及び回答

・行政改革委員会（令和6年11月14日）

○意見

新体育館の特徴は

○回答

特徴としては、まずアリーナの面数について、現状はバスケットボールコート換算で2面だが、中体連等において、八戸市の大会から三八地域での開催に移行しており、競技者の利便性を向上するためにメインアリーナ3面、サブアリーナ1面、合計4面とすることを想定

あとは空調設備について、近年、夏が猛暑となっていますので、健康を害したりしないように空調設備を整えるというようなことが特徴

○意見

新体育館のプロスポーツへの利用は

○回答

プロスポーツができないわけではないが、すみ分けとして、YSアリーナ八戸が1万人規模のコンサート等ができる施設、フラット八戸が5千人規模の催しができる施設である。新体育館は、今のところ2千席程度の座席数を想定しており、市民のスポーツをする場所ということが一番の目的

○意見

別の場所に新体育館を建てた後、現体育館を取り壊すのか

○回答

現体育館は、新体育館が供用開始された後に廃止することで、高総体、中総体などの大会に支障がないようにしたい

○意見

いつも問題視される駐車場の台数は

○回答

現状では、YSアリーナ八戸周辺 600 台、現体育館周辺 350 台、合計 950 台。イベント時の状況として、例えば、野球場で高校野球の準決勝以上があり、体育館でも団体スポーツ、更にYSアリーナ八戸でスケート大会という時には確かに駐車場が満車であるが、その状況は年間で数日である。将来計画とすれば、今の台数分は確保し、大きな催しの際には、できるだけ公共の交通機関を利用していただく想定

○意見

子どもたちから意見を聞く機会はあるか。自分たちも関わっているのだと思うと、行政への関心が高まることにもつながる。

○回答

直接、子ども達から意見をいただいたわけではないが、子どもが使うことは当然、意識しており、体育館のことを話し合う委員会の中で、スポーツ少年団の方、中体連の方、子どもに関するお仕事をされている方などから意見を頂いている。新体育館の中には子どもたちが遊べるスペースをできるだけ設けたい。

○意見

きれいな景観と充実した設備のある施設ができてきているなど感じるが、土の部分がない。Y Sアリーナ八戸ができる前は陸上競技場によく行っていたが、朝の時間帯には、地域の方々が早朝ランニングとかラジオ体操とか、日常的にスポーツ、体を動かす場として使っていた印象であるが、そのイメージからは少し離れてきてしまっているという印象。また、緑化祭り、盆踊等、陸上競技場で開催していたイベントを今は市庁前広場でやっていて、スポーツ競技者にとっては非常に良い魅力的な施設になってきていると思うが、地域の方々にとってはどうなのか

○回答

現在は、公園の周りを歩いたり走ったりする方がいる。また、特に夏場の暑い時期など、外が暑いので氷があるY Sアリーナ八戸の涼しい環境でウォーキング、また、屋外を組み合わせ、公園からY Sアリーナ八戸の中をウォーキングコース、ランニングコースにしている方がいる。将来的な考え方としては、市民の皆様からいただいているお話として、中心市街地とのつながり、回遊性がある施設として、中心市街地から歩いてきてここで運動ができる、土の部分の面積が減るか増えるかについては、今後検討するが、市民の皆様のお憩いの場所になるようにしていきたい

○意見

今の水泳プールはどうか。50mプールで遊ぶことができなくなるのは、寂しい

○回答

今の50mプール、25mプールは廃止する想定で、現在の考え方としては、大会等が開催できるように屋内25m公認プールとすることを考えている。50mプールとしては青森市に屋内50mプールが出来ている

○意見

小学校ではプールをつくらない方向で進んでいると思うが、授業をどうしているのと聞くと、南郷のプールに学校で行くとか、スイミングスクールに行くとか、そういう話を聞いているので、50mプールは欲しい。市の運営で、小学校につくれないのであれば、中心街に設けても良いのでは

○回答

教育委員会からの情報では、そのとおり小中学校はプールの改修をできておらず、使えるプールは年々減っているような状況。長根公園に50mプールを整備できれば確かに素晴らしいが、整備費用が25mと50mでは全然違うので、現在、八戸水泳協会からも意見を伺い、25mで十分大会や練習などができるということで、25m屋内プールで考えている。学校プールは減少してきており、学校授業を市営プールで行うことも前提にプールの仕様を検討している。